みんなで育む手話のまち

守口市
手話言語条例

手話は大切な**ことば**です。

守口市では、手話は言語であることを大切に考え、障がいのある人もない人も互いを尊重し、支え合いながら安心して暮らせるまちを目指して、令和８年４月１日に「みんなで育む手話のまち 守口市手話言語条例」を制定しました。



守口市シンボルキャラクター「もり吉」

■ 聴覚障がいとは？ろう者とは？



「聴覚障がい」とは、音や声が聞こえない、または聞こえにくいことです。

聞こえ方やコミュニケーションの方法は人によってちがいます。手話やジェスチャー、筆談（紙などに文字を書いて伝えること）、などいろいろな方法でコミュニケーションをとります。その中で、主に手話を使って生活する人を「ろう者」といいます。

■ 手話って何？



手話は、手や指の動き、顔の表情などを使って話す「目で見ることば」です。

日本語とはちがう、手話独自の文法があります。

どんなことで困っているの

ちょっとした工夫で、もっと伝わる！

耳が聞こえない・聞こえにくいことは、外見ではわかりづらいことがあります。そのため、困っていてもまわりの人が気づかないことがあります。

病院や駅、お店で困ること

- 呼び出しの音が聞こえない
- 管内や電車の放送が聞こえない
- 自分の順番がわからない
- 大切な情報がわからない



こんな工夫ができます

- 番号や画面などに表示をする
- 電光掲示板などに文字を表示する
- 紙に書いて伝える
- 音の代わりに光や画面で知らせる

外見ではわかりづらい

後ろから声をかけても、聞こえなくて気づかないことがあります。「無視された」と思わずに、聞こえにくい人かもしれないと考えてみましょう。



こんなふうに伝えよう

- 肩を軽くたたいて知らせる
- 正面から声をかける
- 口元が見えるようにする
- ゆっくり、はっきり話す

まわりの状況がわからない

- みんなの会話がわからない
- 話の輪に入りにくい
- 車のクラクションが聞こえない
- 「危ない！」という声が聞こえない



こんなふうに伝えよう

- 相手から見やすい場所で順番に話す
- 紙やスマートフォンに書いて伝える
- 危険な時は、「逃げて」「危ない」など、短い言葉で伝える。

手話を表してみよう！

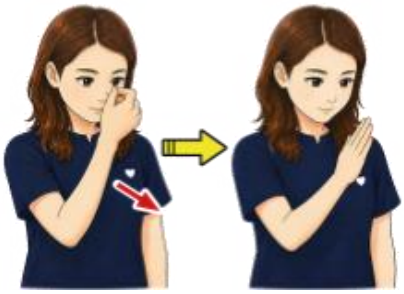
ありがとう



①左手の甲に右手をまっすぐのせる

②のせた手を上にあげる

ごめんなさい



①親指と人さし指で眉間（まゆの間）をつまむ

②手を開いて指をそろえたまま、下におろしながら軽く頭をさげる

よろしくお願いします



①右手のこぶしを鼻の前にもってくる

②手を開いて、頭を下げながら前に出す

好き



①親指と人さし指をあごに軽くふれる

②その２本の指を閉じながら、下におろす

手話は「見ることば」



手や指の動き　表情　体の動き

これらを使って、気持ちや情報を伝え合います。

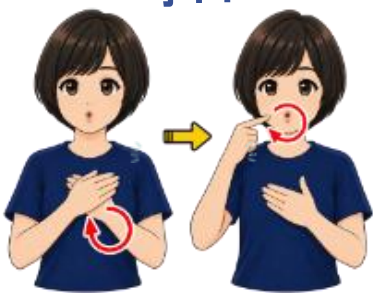
嫌い



①親指と人さし指の先をくっつけて、あごに軽くふれる

②その２本の指を開きながら、ななめ下の前に出す

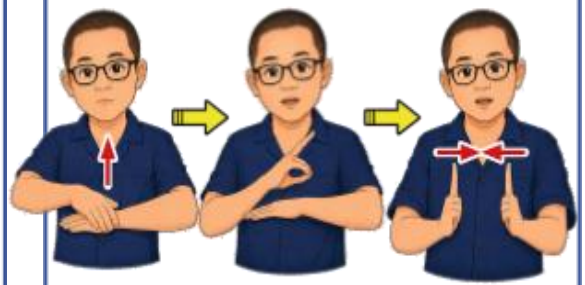
守口



①左手を軽く丸めて、右手で包み込むように添え、くるっと円を描く

②人差し指を口のまわりでくるっと円を描く

初めまして



①両手の甲の上に、右手の手のひらを重ねる

②そのまま上にあげながら、人さし指以外の指をにぎる

③両手の人さし指を立てて、向かい合うようにしながら左右を近づける

嬉しい



両手の手のひらを胸の前で交互に上下に動かす

条例で目指すこと・みんなの役割



市の責務

- 手話について知ってもらう
- 手話を学ぶ機会をつくる
- 手話通訳者、文字通訳者の派遣する





市民・事業者の役割



- 手話やろう者について知る
- ろう者が利用しやすいサービス（筆談、指差しなど）の工夫
- お互いを思いやる

一人ひとりの理解と思いやりが、
誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながります。

手話を知ることから始めてみませんか？



守口市
障がい福祉課
TEL 06-6992-1630
FAX 06-6991-2494
shougaif@moriguchi.city.lg.jp

守口市手話言語条例　検索

令和８年10月　第１版　発行